

平成27年度
一級建築施工管理技士
(実地試験)

問1、問2 解答参考例

問題1

建設工事における建設副産物は、その種類と発生量が多いため、建設業においては資源循環型社会の推進に向けて建設副産物に対する更なる取組みが求められている。

あなたが経験した**建築工事**のうち、施工にあたり**建設副産物対策**を計画し実施した工事を1つ選び、工事概要を記入した上で、次の1. から2. の問いに答えなさい。

なお、**建築工事**とは、建築基準法に定める建築物に係る工事とし、建築設備工事を除くものとする。

〔工事概要〕

- イ. 工事名
- ロ. 工事場所
- ハ. 工事の内容（新築等の場合：建築用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量
主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ）
（改修等の場合：建物用途、主な改修内容、施工数量又は建築規模）
- ニ. 工期（年号又は西暦で年月まで記入）
- ホ. あなたの立場

概要については平成18年度から同じ設問形式なので省略致します。

『平成18年度実地試験解答参考例』及び『経験記述のポイントテクニック集』を御参照ください。

1. 工事概要であげた工事において、あなたが計画し実施した建設副産物対策のうちから**発生抑制**について**2つ**、**再生利用**について**1つ**あげ、次の①から③の事項についてそれぞれ具体的に記述しなさい。
ただし、②の「計画・実施した内容」は、それぞれ異なる内容の記述とする。

- ① 工 種 名
- ② 計画と実施した内容
- ③ 結果と波及効果

解答例

（平成21年度・平成24年度の経験記述問題参照）
（一問一答式参照）

【発生抑制1】

①型枠工事

②基礎となる合板型枠をラス型枠に変え、型枠の加工に伴う残材の発生を抑制した。

③基礎工事における型枠の廃棄物が減少し、作業効率も上がった。

【発生抑制2】

①内装工事

②搬入材料は梱包材（包装材、ダンボール等）を減らしたものを選定し、パレット等による搬入を実施した。

③現場搬入材の選定及び無包装を指導・促進したことにより建設副産物を大幅に減らすことができ、産業廃棄物処分費を大幅に削減できた。

【再生利用】

①内装工事

②石こうボードは専用のコンテナを設置してそれに仕分け、ボードメーカーが引き取り再利用した。

③現場作業員にも再利用の考えが広まり、材料を大切に使うようになった。材料が減り、コストダウンに繋がった。

2. 工事概要にあげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、現場で分別された産業廃棄物の**適正処分**にあたっての**留意事項**を2つ、産業廃棄物をあげて具体的に記述しなさい。ただし、留意事項はそれぞれ異なる内容の記述とする。

解答例

(建設副産物・環境問題への対策参照)

【留意事項1】

産業廃棄物： 金属屑類

◎現場から発生する金属は、鉄・ステンレス・アルミ・その他と分別作業を行うように留意した。

【留意事項2】

産業廃棄物： アスファルトガラ

◎発生したアスファルトガラが最終処分場で適正に処理されたことを、マニフェスト伝票にて管理することに留意した。

問題2

建築工事において、次の1. から3. の仮設物の設置計画の作成にあたり、**留意・検討すべき事項を2つ**、具体的に記述しなさい。

ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、設置後の保守点検等の運用管理に関する記述は除くものとする。また、使用資機材に不良品はないものとする。

1. 外部枠組足場
2. 仮設電力設備
3. 荷受け構台

解答例

1. 外部枠組足場

- ①地盤を十分に締固め、ベース金具の下に敷板を設ける。
- ②足場つなぎは、垂直方向＝9m以下、水平方向＝8m以下とする。

2. 仮設電力設備

- ①工事中の配電設備の移動を避けるような配電計画を設定する。
- ②主幹、分電盤設備などは仮設事務所に出来るだけ近い位置に配置する。

3. 荷受け構台

- ①揚重材料の大きさ、重量に耐えられる構造とする。
- ②揚重した資材をスムーズに建物内に取り込める位置に設置する。